

## システムの名称：システムTK-IV

## 第1章 システムの基本的な考え方

本工法は「構造上の信頼性」「施工上の優位性」「住居上の満足感」といったユーザーニーズに応えることができる、長期優良住宅法の認定基準に準拠した高性能な住宅工法である。エンジニアードウッドを利用した高強度で資産価値の高い「強さ」、工場パネル化することによって保たれる高品質「均一性」、エンジニアードウッド・パネルの大スパン化による空間の「自由度の高さ」、大幅に工期が短縮できる「早さ」など多くの特性を備えているシステムである。

## ●長期優良住宅 認定基準である下記の各等級をクリアする

- |             |     |     |
|-------------|-----|-----|
| 1. 劣化の軽減    | 品確法 | 等級3 |
| 2. 構造の安定    | 品確法 | 等級2 |
| 3. 維持管理への配慮 | 品確法 | 等級3 |
| 4. 温熱環境     | 品確法 | 等級4 |

## 第2章 システムの概要

## 2. 1 工法の概要

- 1) 主要構造材である柱、梁等に強度、耐久性に優れているエンジニアードウッドを使用
- 2) プレカットの生産効率の向上、材料の仕入れ、管理の合理化のため、構造材断面寸法を統一化
- 3) 作業の効率化・安全のため、床組を先行し足場を確保
- 4) 外壁（耐力壁）は構造用パネルを採用し筋かいを省略、1階床はネダレスボードの採用により根太を省略、そして1、2階とも下地直張り剛床とし、火打ち土台・梁を省略
- 5) 現場の省力化・工期短縮のため、壁・束パネルと主要構造材のプレカットで材料、部材を工業化
- 6) 専用梁受金物とロングスパンの胴差、桁、床梁により複雑な仕口部分を無くし、工場・現場での作業効率が向上

## 2. 2 基本構造

- 1) 主要構造  
  - ① 主要構造の材料：土台、柱、横架材は JAS 構造用製材を用いる
  - ② 外壁面材：構造用パネル t=9mm
- 2) 構造計画  
  - ① 平面計画：1P=910mm
  - ② 構造ユニット：4P×5P の矩形を最大とする  
四辺の上下には横架材を配置し、  
四隅には原則、柱を配置する
  - ③ 平面形状：突出部やくびれの条件に応じてルールに則る
- 3) 開口部の制限  
  - ① 最大開口寸法は 4P 以下とする
  - ② 構造ユニットをまたがる場合は 2P 以下とする
- 4) 柱の配置  
  - ① 管柱、通し柱は 105×105 とする
  - ② 構造ユニットの四隅には原則柱を配置する。
- 5) 横架材の配置  
  - ① 構造ユニットの上下には横架材を配置する。
  - ② 床組みの構成により、所定の横架材を設ける。
- 6) 基礎の仕様  
鉄筋コンクリート造のべた基礎



写真 2-2-1 専用梁受金物と納まり



写真 2-2-2 外壁パネル

## 2. 3 施工フロー

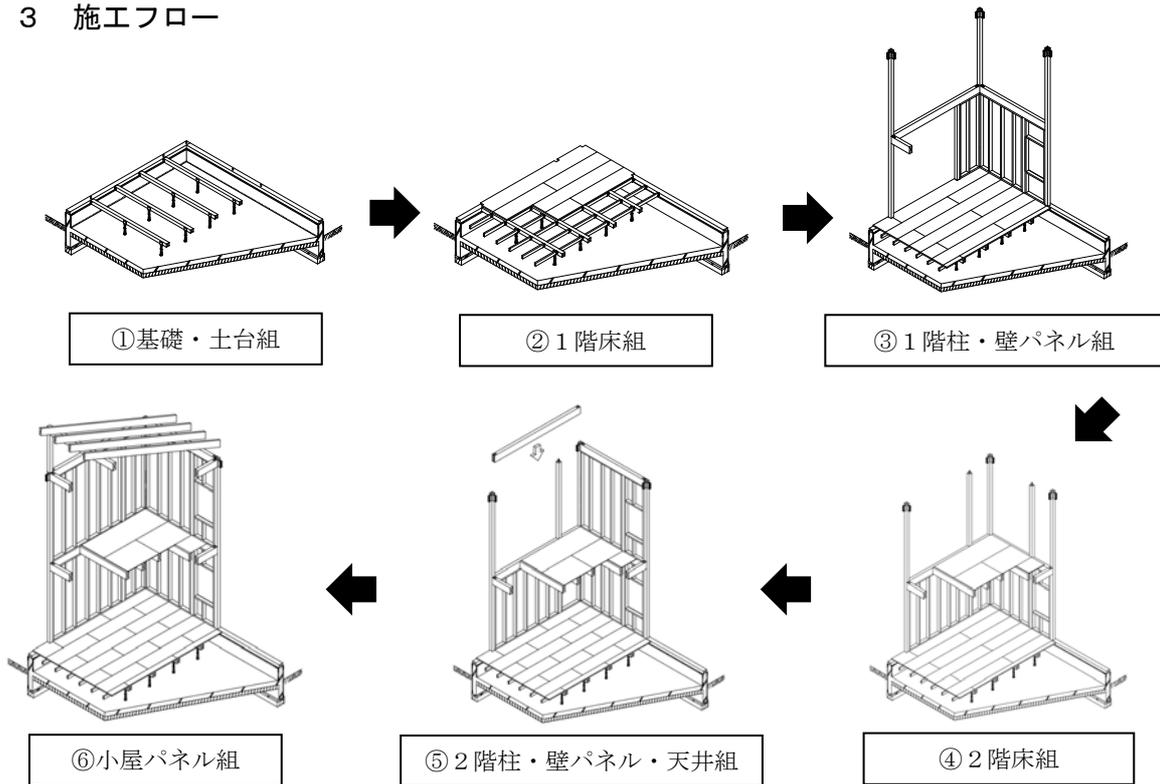
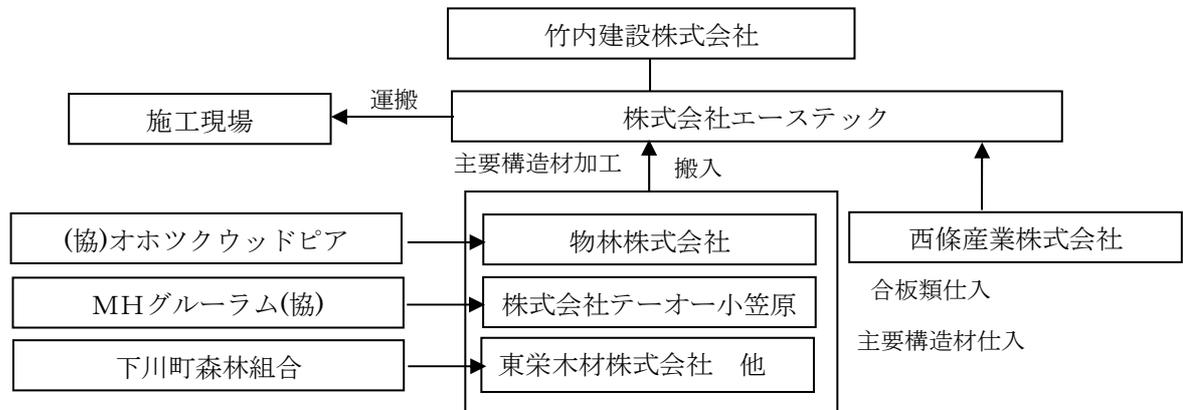


図 2-3-1 施工フロー図

## 第3章 供給体制について



## 第4章 維持管理について

### (1) 維持管理補修サービス

- ・引き渡し後6ヶ月、1年、2年目の定期点検を実施
- ・5、10、15、20、25、30、40、50年の保守点検を実施(10年目以降は有償)
- ・災害時の連絡及び点検を実施

### (2) 保全計画書

- ・次の項目から構成された保全計画書を施主に渡す体制としている。

①一般事項(住宅名称、所在地など)、②使用材料(構造材、防水材など)、③保全計画内容

### (3) その他

- ・(株)日本住宅保証検査機構による住宅瑕疵担保責任保険を活用
- ・ジャパンホームシールド(株)による地盤20年保証を利用